

三鷹市立第七中学校 令和4年度【社会】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○社会的な資料を提示すると、小学校のころ学習した内容と関連させて考えることのできる生徒が多い。</p> <p>○集中力が持続しない生徒が一定数いるので、話を聴くときと作業するときのけじめを付けさせるなど、集中できる環境を整えることを引き続き行う。</p>	<p><地理的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る活動を多く入れ、データになれる練習をしていきたい。特に雨温図の読み取りが苦手な生徒が多いので、何回も授業で資料に触れることが大事であるとする。 基礎的な社会科の用語の定着に課題がみられる。まずは簡単な用語をしっかりと覚えて使えるように単元テスト等で復習していく。 自分の考えを文章にまとめ表現することが苦手な生徒が多い。文書を作る練習が足りていないと感じている。単元のまとめレポートなどを作成し、文書の表現力を少しずつ育成していく。 <p><歴史的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校のころに学んだ歴史的な事象と関連付けて学べるような工夫が必要である。復習を多く取り入れ、小学校時代に何を学んだのか、思い出していく作業を取り入れることに取り組む。 自分の意見を周囲と交換し、発表する活動を増やし、表現力を磨いていく。 	<p><地理的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> データの活用について、資料の読み取り方を丁寧に確認し、正しくデータを読み取る練習を重ねていく。 単元テスト前に問題演習シートなどを配布し、しっかりと知識の定着を図る。単元テストや定期考査で繰り返し、基本的な単語について確認することで知識の定着を図っていく。 文章にまとめる作業を授業内で多く取り入れる。プリントを活用して、まずは自分の意見を書く練習を増やしていく。 <p><歴史的分野></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の導入部分に復習の時間を設けるなどして、小学校の頃の歴史の知識を確認する。特に時代の流れの確認や人物学習について学んだことについてプリント等で確認を行っていく。 意見を書いて周囲と交換する活動を多く取り入れていく。主体性をもって活動に取り組めるように、班活動を重点的にを行い、プリント等に意見を書く活動を増やしていく。
第2学年	<p>○調べ学習の時間を増やし、主体的に社会科の授業に取り組む生徒が増えた。</p> <p>○話し合い活動を増やし、授業中の発言をメモする生徒が増えた。</p> <p>○ICT機器を活用し、写真や動画資料を多く用いることで理解を深めさせることができた。</p>	<p>○地理的分野では、地理的な特色を多角的、多面的に理解させ、空間的な広がりや人類と自然の相互関係などに着目させ考察させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを文章にまとめるような課題を設定し、生徒自身の考えを明確化させる。 地図の書き込みや資料作成を通じて、情報を視覚的に理解できるよう時間をとっている。 自分だけでは情報の読み取り等が困難、自分の考えを文章化するのが困難な生徒が多い。 <p>○歴史的分野では講義形式の授業が増えてしまい、生徒に活動させる場が減少してしまったため、ICT機器を活用して生徒に考えさせる時間を増やした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの課題として地理・歴史・時事問題と3つのテーマを決めての調べ学習を行わせ、調査技能やまとめ方について指導した。 小テストを実施し、基礎的な知識の定着を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に小テストを実施し、基礎的な知識の定着を図る。 定期考査前の補充教室を用いて復習をし、基本的な事柄の確認を行う。 地図帳を確認させ、色分けや書き込みをすることで情報を視覚的にとらえる。 歴史的事象について、年表や人物と絡めて時間的な流れでとらえる。また、ICT機器を活用し、写真や動画資料を活用して想像力や思考力を深める。 社会的事象に対する意見をまとめ、生徒同士の情報の共有及び表現力の向上を図る。夏休みの課題として実施。 資料から読み取れることを文章にまとめさせ、適切な文章校正力を養う。 題材を設定し、資料を作成する力を養う。冬休みの課題として実施する。 話し合い活動を増やし、生徒同士で教えあう機会を増やすことで考えたことのインプットとアウトプットの能力を高める。
第3学年	<p>○記述式の問題での回答率が高くなった。文章題の形式に慣れたこと、文章構成力が高まったこと等が理由と考えられる。</p> <p>○時系列が整理しにくい生徒が多い。歴史を大きな視点で見ずに、時代をまたいだ出来事の原因と結果を結び付けられていないためだと考えられる。</p> <p>○地理的分野の進捗が非常に遅れている。現在急ピッチで進めているところである。</p>	<p>○地理的分野が遅れているので、内容を焦点化して進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期の休みに課題を出し、地理的な事象をまとめさせることで社会に対する関心を高め、資料を作成する能力を高めた。 <p>○歴史的分野では生徒が自分の考えを発表することが少ない。発言したらないことが多い。班活動をさせると話し合うことができるので、まずは小集団の中で話し合いを深めていく。</p> <p>○公民的分野では、現在の社会で実際に起きている事象や事例を用いて考察し、経済の基礎を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が考える授業を行う。また、生徒同士で意見を交換し、社会の見方・考え方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に小テストを実施して基礎的な知識の定着を図る。 授業でICT機器を用いて写真や動画資料を活用し、歴史や公民の事象を視覚的にとらえられるようにする。 発展的な学習として、歴史的事象や公民的事象についての自分の意見を持ち、小グループでの討論活動を行い、表現力を養う。 発展的な学習指導として、提示した課題についての学習用のスライドを作成し、資料活用能力を育成する。夏休みの課題として実施済み。